

1. 単元名 『地車（だんじり）囃子』

2. 単元の目標

- 地車囃子の曲想や、均等打ち・並あし打ちなどのリズムなど音楽の構造について理解し、並あし打ちの地車囃子を演奏することができる。（知識及び技能）
- これまで受け継がれてきた並あし打ちでの地車囃子で演奏することでの良さや面白さを感じ取り、魅力を伝えられるよう表現を工夫することができる。（思考力・判断力・表現力等）
- 様々な囃子など日本の伝統的な音楽に興味を持ち、意欲的に地車囃子について演奏することが出来る。（主体的に学習に取り組む態度）

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、「地車囃子」を教材として取り上げる。

岸和田だんじり会館に伺い、会館の人や地車囃子を演奏する青年団の人に地車囃子のお話を聞くことで、地車囃子だけではなく囃子が使用される岸和田だんじり祭りについても学べて、これまでの受け継がれてきた歴史や地車囃子のリズムなど音楽の特徴についての意味を学ぶことが出来る。このことから、日本の伝統的な音楽の大切さを感じる事が出来る。また、使っている楽器を実際に体験することで、地車囃子の良さや面白さを子ども自身で感じられ、楽器を演奏する時の音楽表現の工夫について考える能力の工夫についても向上できる。

また、現在地車囃子の元のリズムである並あし打ちが出来ることが少なくなっていることも取り上げる。現在陥ることの多い均等打ちと並あし打ちでの違いや音楽構造について理解し、並あし打ちでの地車囃子を主体的に伝えていこうと、意欲的に表現方法について考え演奏に取り組むことが出来る。

(2) 児童観

(省略)

(3) 指導観

本単元の指導に当たって、まず岸和田だんじり祭りでの地車囃子が演奏されている場面を鑑賞させ、地車囃子やお祭りの印象について発表させる。このことを通して、岸和田だんじり祭りでは地車囃子が演奏されており、お祭りという身近な行事にも音楽が関わっていることに気付かせる。さらに、鑑賞した地車囃子を見ながら、実際に見様見真似で演奏させることで、地車囃子のリズムの難しさやクラシックとの音楽の構造の違いについて掴ませたい。また、この地車囃子が約300年前から続いているお祭りで演奏されていることから、地車囃子について調べる意欲をもたせたい。

次に、岸和田だんじり会館に伺い、岸和田だんじり祭りについて話を聞くことで、地車囃子が演奏される意味やお祭りに込められた願いなど学ばせる。さらに、会館で地車囃子を演奏されている青年団の人にお話を伺ったり、実際使用されている楽器に触れる事で、これまで地車

囃子は大切に受け継がれてきた伝統的な音楽であることから、これからも受け継いでいかなければいけないという責任感をもたせる。さらに、お祭りにとって重要な囃子についての意欲をもたせる。

伺ったお話から、どのように地車囃子を伝えていくべきかを考えさせる。その際に、現代の若者が元の囃子リズムである並あし打ちを演奏するのが難しく、均等打ちの演奏が多くなってきていることを提示し、実際に身近な物を使って両方のリズムの演奏を行ってみる。直接リズムの難しさを感じさせることで、元の並あし打ちを正しく受け継いでいく意欲をよリモたせる。

さらに、並あし打ちでの発表を身近なものを使用して、練習をつみ他学年の前で行わせることを通し、並あし打ちという音楽表現についての工夫を考えさせる。そして、これからさらに多くの人に伝えてくためにはどうすればいいのかについて考えさせられるよう繋げていくようにする。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

多様性…お祭りというと出店などに意識がいきまじり祭の意味や流れる音楽の重要性について考えることが少ないため、屋台や高速やり回しだけではなく、囃子という音楽もお祭りの重要な要素であることを理解し、お祭りは、様々な人や物で構成されて一緒に作り上げられているということ。

責任性…これまで約 300 年間演奏されてきた地車囃子をこれからも伝えていくために、正しい並あし打ちでの演奏を多くの人に伝えていくことが大切であるということ。

・本学習で育てたい ESD の資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力

現在均等打ちのリズムで地車囃子を演奏している人が増えていることから、元の並あし打ちでの地車囃子が演奏されなくなってしまう事を予測して、多くの人に並あし打ちを伝えるためにどうすればいいのかを考え、演奏する場を計画する。

他者と協力する態度

周りの人と一緒に地車囃子を演奏するという事で、他の人の音を聴いたり息を合わせたりと、他の人と音を合わせて演奏しようとする。

つながりを尊重する態度

地車囃子を演奏する青年団の人だけではなく、演奏中にだんじりを引く人や盛り上げる人など、多くの人のおかげによって岸和田だんじり祭りが作られており、現代まで受け継がれてきたということを理解し、つながりを尊重しようとする。

進んで参加する態度

これからも並あし打ちの元の地車囃子を伝えていくために自分ができる事を考え、人前で発表したり、均等打ちとのリズムの違いを学ぼうという意欲的な姿勢で取り組もうとする。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代間・世代内の公正を意識できる

これまで大切に受け継がれてきたようにこれからも地車囃子を多くの人に伝えていくこと

が大切である。

人権・文化・平和を尊重できる

昔の人が長年大切に、現在まで受け継がれてきた岸和田だんじり祭りや地車囃子を大切に尊重しようとする。

・達成が期待されるSDGs

12 廃棄物の再利用

11 住み続けられるまちづくり

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 地車囃子の曲想や、均等打ち・並あし打ちなどのリズムなど音楽の構造について理解している。</p> <p>② 並あし打ちの地車囃子を演奏する技術を身につけている。</p>	<p>① これまで受け継がれてきた並あし打ちでの地車囃子で演奏することでの良さや面白さを感じ取れている。</p> <p>②地車囃子の魅力を伝えられるよう表現を工夫することができる。</p>	<p>① 様々な囃子などを主体的に調べることで、日本の伝統的な音楽に興味を持ち、関わろうとしている。</p> <p>② 意欲的に地車囃子について演奏し、多くの人に伝えようとしている。</p>

5. 単元の指導計画（全 18 時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	<p>地車囃子の鑑賞を行って、地車囃子やお祭りの印象について発表し、鑑賞した地車囃子を見ながら、実際に見様見真似で演奏をする。</p> <p>・演奏しても、映像で見たようにみんなと音が合わないな。</p> <p>・地車囃子は約 300 年間演奏されているんだ。</p> <p>・お祭りで音楽って大切だ。</p>	<p>○地車囃子を鑑賞する時に高速やり回しに目が行ってしまうため、目を閉じて音楽だけの鑑賞を行い、地車囃子に着目出来る環境を作る。</p> <p>○実際に演奏してみることで、地車囃子のリズムの難しさやクラシックとの音楽の構造の違いについて掴ませる。</p> <p>○地車囃子が約 300 年前前から続いているお祭りで演奏されていることから、地車囃子へ意識を持たせられるようにする。</p>	イ① (思判表)
2	岸和田だんじり祭りや地車囃子について調べ、岸和田だんじり会館の人にお話を伺う。	○岸和田だんじり会館の人から祭りに関してだけでなく地車囃子について説明してもらい、地車囃子につ	ウ① (主体性)

	<ul style="list-style-type: none"> ・穀物がたくさんとれるようにお願いするためのお祭りなんだ。 <p>岸和田だんじり会館で、演奏されている青年団の人に話を聞き、実際に楽器を体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地車囃子は岸和田だんじり祭りにとって重要な役割があるんだ。 <p>活動の振り返りを行い、他にも地車囃子のように演奏されている囃子があるかを調べ、共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもは触れない楽器に触れておもしろかった。 ・昔からお祭りと囃子は深く関わっているんだ。 ・自分たちはこれから地車囃子を伝えていくために何かできないだろうか。 	<p>いての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまで地車囃子は大切に受け継がれてきた伝統的な音楽であることから、お祭りにとって囃子が演奏される意義について、改めて考えさせる。 ○今後の活動に繋げるため、グループごとなどで聴いた話や体験の共有が出来るよう促す。 ○地車囃子以外で共有して囃子についての音楽鑑賞しを行って、地車囃子との共通点や異なる点を子ども自身が感じられるよう促す。 ○他の囃子を音だけで流し、囃子に対して興味を引く。 	<p>イ① (思判表)</p> <p>ウ① (主体性)</p>
3	<p>地車囃子を伝えていくためにどうすればいいのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人に伝えていく。 ・自分達で演奏して、演奏を聴いてもらう。 ・地車囃子は正しいリズムがわからず、手元に囃子で使用する楽器がないから演奏できない。 ・別の物で演奏して、伝えられないかな。 <p>身近な物を使って地車囃子を演奏してみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・缶やキッチンペーパーの芯など物によって響きが違う。 ・並あし打ちは、タメが難しくたくさん叩くことが多くて、難しい。 ・正しいリズムを叩かないとみんなと音が合わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地車囃子は、お祭りの音楽であるため、音楽として伝える方法についてどうすればいいのかの考えを促す。 ○別の物で演奏するためには何が必要か、楽器についても着目させる。 ○並あし打ちと均等打ちの両方の地車囃子を教えて、2つのリズムを比較させ、正しく伝えていく難しさについて考えさせる。 ○並あし打ちの地車囃子を受け継いでいくことの重要性に着目させる。 	<p>イ② (思判表)</p> <p>ウ② (主体性)</p> <p>ア① (知・技)</p> <p>イ② (思判表)</p> <p>ウ② (主体性)</p>
4	<p>並あし打ちの地車囃子を発表し、振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからも多くの人に伝えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後の活動へ繋げていくために、演奏を行う楽しさにも意識させるようにする。 	<p>ア② (知・技)</p> <p>ウ② (主体性)</p>